

超微粒子スプレー装置

シャットノクサス®ミニ

脱臭

消毒

電源
不要

小型・
省スペース
設計

静音

菌からウイルス
までを対応!!
国際特許製品
シャットノクサス®



生活環境を一般生菌、大腸菌群、
ブドウ球菌群などの細菌から守る
新次元の環境消毒システムシャットノクサス・ミニ。



ロッカーや衣類、
リネン室に。



研究室や
研究器具に。



厨房内に。



工場施設内に。

シャットノクサス®ミニ 4つの特長

1 高効果

揮発性が高く、高効果の得られる高濃度アルコールのスプレー消毒により、短時間で効果的に精度の高い除菌消毒が行えます。

2 機能性(スピーディー)

コンパクトな「シャットノクサス・ミニ」は電源を必要としないためスピーディーに使用できます。また、コンプレッサー方式ではないのでモーター音がなく、静かに作業が行えます。

3 経済性(低コスト)

超微粒子による効率的なスプレーによりアルコールや薬剤の使用量を削減でき、また消毒作業のスピード化・省力化により人件費の軽減が図れます。揮発性の高いアルコールを使用しているため、消毒物には水分が残らず、二度拭きの必要がありません。

4 安全性

シャットノクサス・ミニは引火の危険性のない画期的な方式でアルコールスプレー消毒を行います。

シャットノクサス[®]方式

アルコール消毒の優れた利点を生かし、引火性の問題を解消した、安全、安心、作業性に優れた効果的な脱臭・除菌消毒装置「シャットノクサス」。

各種の消毒方法に比べ、アルコール消毒は多くの優れた利点があります。

■消毒方法の有用性比較

(○優れている △やや問題あり ×問題あり)

消毒方法	作業時間	錆発生	引火性	臭気	毒性	有効性と問題点
アルコール消毒	○	○	×	○	○	引火性の問題を除けば、総合的には最も優れた方法である。
ホルマリン消毒	×	○	○	×	×	効果は高いが設備や処置が必要。消毒時間が長いのが欠点。
紫外線殺菌	×	○	○	○	×	影の部分の殺菌ができない。光が有害で危険。距離があると効果が低下。
オゾン殺菌	×	×	○	△	×	気体なので触れる面の殺菌ができる。人体に有害。密閉された場所(設備)が必要。機器類に錆が発生。
酸性水	×	×	○	△	○	分解しやすく、殺菌効果を上げるには条件設定に工夫が必要。錆対策も必要。

■アルコールの抗微生物スペクトルと用途別有効性 (○有効 △一部有効 ×無効)

	用途別										
	一般細菌	緑膿菌	MRSA	結核菌	真菌	芽胞菌	HBB	HIV	皮膚	傷口	器具環境
アルコール類	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○

出典：ICHG研究会編集「滅菌・消毒・洗浄ハンドブック」参考

■付属品(マスク・ゴーグル)



シャットノクサスをご使用の際は、安全のため、マスク・ゴーグルを着用してください。



従来の清拭消毒方式に比べ、ご使用の方に対してきわめて安全で効率の高い消毒方法です。

〈清拭方式〉

消毒薬の残留水分を、空拭きで、ふき取る必要がある。

作業員の習熟度により、消毒効果格差が大きい。

モップなどを使用するため、消毒薬の無駄が生じる。

〈シャットノクサス方式〉

・空拭きが必要なく、作業が早い。
・濡れた床ですべる事故を防止。

・習熟度格差が小さい。
・スピーディで、労働力削減。

・必要な消毒薬の量ですむ。

高濃度アルコールを液化炭酸ガスの圧力を利用して引火の危険性がない安全かつ効果的なスプレー消毒を行います。(シャットノクサス方式)



超微粒子アルコールスプレー装置「シャットノクサス」は、液化炭酸ガス(CO₂)の特性を利用した高濃度アルコール(65~80%)もスプレーすることができる画期的なシステムです。

(社)産業安全技術協会における「評価試験」において引火・爆発しない安全性が証明されています。

■仕様:型式/SNA-50S

外形寸法/幅320×奥行390×高さ900mm

本体重量/15kg(ボンベ含まず)

本体材質/SUS304(研磨仕上)

薬液ボトル/500ml

薬液スプレー量/約60ml/分

使用ガス/液化炭酸ガス

5kgボンベ

ボンベ使用時間/約80分

■使用条件:周囲温度/−10~40℃ 相対湿度/30~85%

特許/アルコール(65~80%)スプレーによる消毒方法

国内…1959617

海外…EPC 0404015(ヨーロッパ14ヵ国)

6043287(アメリカ)

■シャットノクサス専用除菌・消臭液

〈高濃度アルコールシリーズ〉

〈二酸化塩素シリーズ〉



インフレイトE-88



サイプレスクリア



ビオフィェンス・リキッド

新耕産業株式会社

〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町2丁目26-11

TEL.078-846-0358(代) FAX.078-846-0359

●お問い合わせ先は…